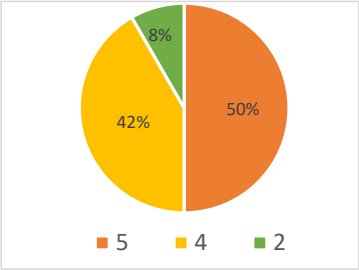
令和３年度　　自己評価表

評価基準：5（よくできている）・4（ほぼできている）・2（まだ不十分である）・1（できていない）

園評価と今後の課題

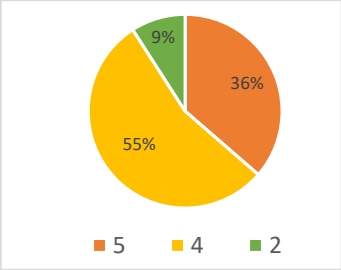
Ⅰ　保育の計画性

①園の理念・目標の理解
- 園の理念や目標を理解しているか
- はなぶさ保育園の良さを理解しているか



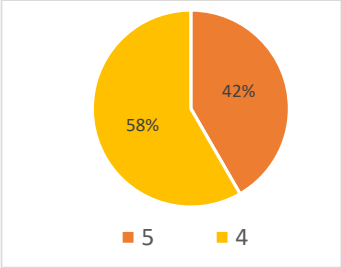
・年度初めに全職員で園の理念や目標・服務心得などを確認し、共通理解を図っている。はなぶさ保育園の職員としての自覚を持ち、認定こども園の特色を生かしながら園の良さを保護者の皆様にも感じていただけるよう今後も努めていきたい。

②指導計画の作成
- 指導計画は適切に行えているか



・コロナ対策を徹底し、どうすれば行事や活動が行えるか検討しながら状況に応じて指導計画を見直してきた。既存の方法にとらわれることなく、工夫したり新しい方法を考えたりすることができたのは、よかったと思う。

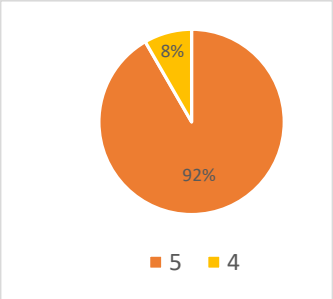
③環境の構成
- 子どもの生活、成長に支障がないよう環境設定を行えているか



・定期的に園内外の安全確認を行い、危険個所があればすぐに対処するようにしている。怪我があった場所などは職員で周知し、十分気を付け環境設定を行っていきたい。

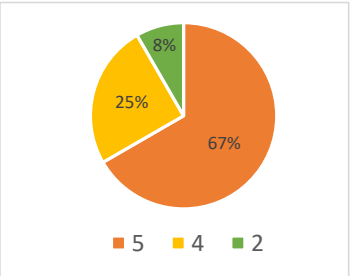
Ⅱ　保育の在り方、子どもへの対応

①健康と安全への配慮
- アレルギーや持病の子どもの体調を気にかけ適切に対応できているか
- 事故やけがに関して対応でき、報告手順も理解しているか
- 安全な生活、活動をするための指導及び配慮を行っているか



・アレルギーや持病を持つ子については資料を作り、年度初めに全職員で周知しているが、常に意識して間違いがない様徹底したい。
・危険なことや人の迷惑になることはしてはいけないことを子どもたちにも知らせ、物の善悪や価値観を育てていきたい。

②子どもの理解と指導の在り方
- 子どもの思いや考えに寄り添い、共感して一緒に活動できているか
- 子ども一人一人の理解に努め、良さを認められているか
- 子どもの姿を多面的に捉え、発達の課題と照らし合わせながら見通しを持って援助できているか
- 子どもが自ら考えたり行動できるよう見守りなら援助できているか
- 子ども同士のトラブルの状況を理解し、適切に対応できているか
- 子どものモデルとなるよう行動できているか

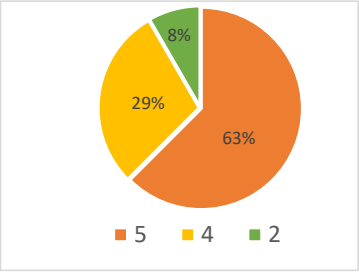


・同じクラスで何年間も一緒に過ごす子どもたちは、友達とのつながりが強くけんかもしながらお互いの個性を認め合い人間関係を学んでいる。
・職員も、子どもたちの見本となれるよう、チームワークを大切に助け合う姿を見せていきたい。

③保育者同士の協力・連携

・保育者は、クラスに関係なく適切な言葉がけや対応をするように心がけたか

・教育保育の質、仕事の質の向上に向けた連携、協力に努めているか

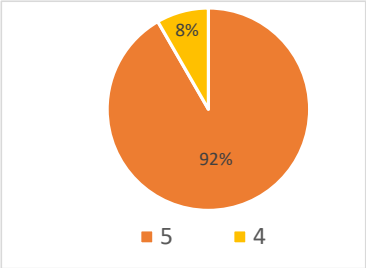


・月２回職員会議を行い、行事や保育内容などを周知し、職員が連携し協力しあって保育や活動を行っている。今後も全職員の連携を深めていきたい。

Ⅲ　保護者への対応

①守秘義務の遵守

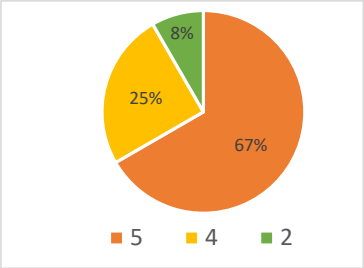
・子どもや同僚の個人情報の取り扱いについて理解し、情報が漏れることの無いよう留意しているか



・個人情報については、確実に遵守すべきものであるため、十分気を付けて取り扱いを行っている。今後も情報が漏れることがないよう職員一人一人が責任を持つことや取り扱いの方法を確認していきたい。

②クレームへの対処の仕方

・クレームには適切に対応できているか

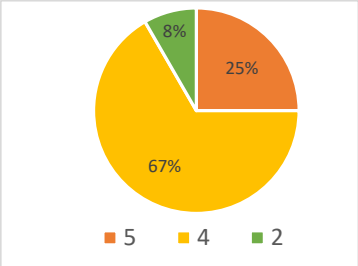


・連絡ノートや個人面談などでご意見やご要望をいただくことがあり、報告・連絡・相談を速やかに行い対処するよう努めている。保護者の皆様のご意見を聞きながら、安心してお子様を預けていただける園を目指していきたい。

Ⅳ　地域の自然や社会とのかかわり

①地域の自然・人々との関わり

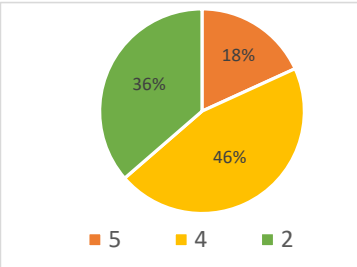
・地域の中の認定こども園という意識が持てているか



・未満児クラスは、散歩で近所の遊歩道や公園に行くことが多く、地域の方が笑顔で声をかけてくださる。お会いした時には挨拶をし、散歩の際には大きな声を出すなどご近所の迷惑にならないよう気を付けている。

②小学校との連携

・小学校以降の子どもの育ちを見通した教育を考えることができたか

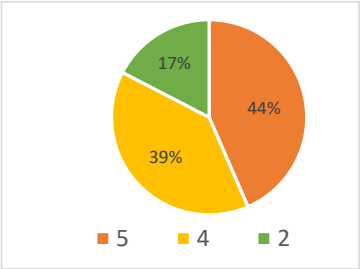


・小学校との関わりは、5歳児クラスになってからなので、他学年が日々の保育の中で意識することは難しいと感じた。しかし、園の保育教育目標は、小学校以降の育ちを見通した内容になっているので、カリキュラムを行うことで達成されていると考えられる。

③子育ての支援と地域への開放

・自園の子育て支援事業について関心を持ち、活動について理解できたか

・利用者に対して積極的に声をかけたり挨拶をするなど、親しみやすい雰囲気づくりを心がけることができたか



・園内に子育て支援室があり、地域の方が親子で遊びに来られるので、笑顔で挨拶を心がけている。
・入園を考えている方が、子育て支援に来園してくださることもあるので、園の温かな雰囲気を伝えられるようにしたい。

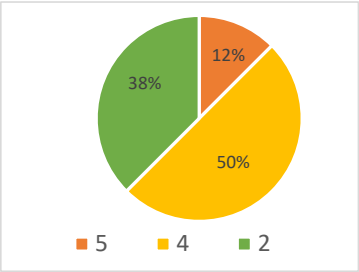
Ⅴ　研修・研究

①研修・研究への意欲・態度

・子どもに関する研修・研究を行えたか

・保護者対応、クラス経営に関する研修。研究を行えたか

・研修で得た知識や技能を実践で生かせているか



・コロナ禍で思う様に研修会に行くことができなかったが、可能な限りリモート研修に参加し、職員間で情報共有できるよう努力した。

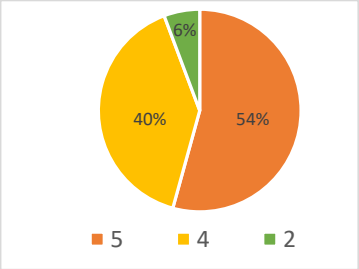
Ⅵ　保育者としての資質と能力

①専門家としての能力・姿勢・義務

・保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら教育保育に臨めているか

・言葉遣い、服装、髪形、身だしなみなど、当園の職員として相応しいものを心がけたか

・期限を守る、先を見る、確認をするなど仕事の質を上げられるよう努めたか

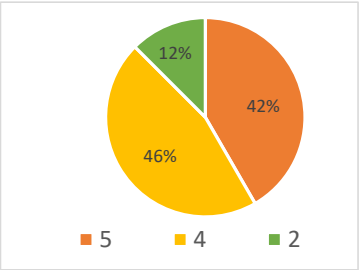


・折に触れ保護者の方とコミュニケーションを図りながら信頼関係を築けるよう努力してきた。
保護者の方と考えや思いを共有し子どもたちの為にできることを今後も精一杯行っていきたい。

②組織の一員としての在り方

・他の意見を聞き、自分の意見を発信することができているか

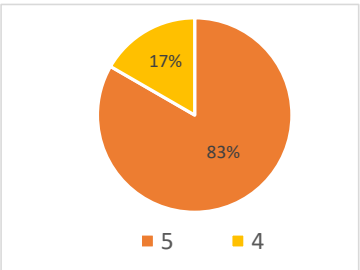
・当番、担当行事や係などの役割は確実に行えたか



・保護者参加の行事や季節行事など、担当職員が計画進行を行い職員会議で意見交換をしながら園全体で取り組んでいる。
・園内の環境設定や安全対策・保健衛生（感染対策含む）についても担当係が年間計画を立て行った。

③保育の楽しみ・喜び

・子どもと共にあることを喜び、楽しいと感じられたか



・クラスの隔てなく、職員皆で子どもたちの成長を喜び合い、笑顔で子どもたちの様子を話す姿が見られる。
・やりがいのある仕事ができることに感謝し、今後も保育教諭として努力し続けていきたい。